



## わたしも大切、あなたも大切。

★12月4日～10日は人権週間です★

1948年12月10日の第3回国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを受けて、我が国では、毎年12月4日から10日までの一週間を「人権週間」と設定しています。

本校でも「人権週間」にちなんで、授業や全校集会等の中で「自他の大切さ」について学ぶ機会をつくっています。12月の小学部全校集会「キラリっこ集会」は、私たちが日頃、何気なく使っている「ことば」の大切さについて、次の詩を引用して話をしました。

「ひとつのことば」  
北原 白秋

ひとつのことばで	けんかして
ひとつのことばで	なかなかおり
ひとつのことばで	頭が下がり
ひとつのことばで	心が痛む
ひとつのことばで	楽しく笑い
ひとつのことばで	泣かされる
ひとつのことばは	それぞれに
ひとつの心を	持っている
きれいなことばは	きれいな心
やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に
ひとつのことばを	美しく



ことばは、生きています。わたしたちは、ひとつの「ことば」で傷つき、ひとつの「ことば」で勇気づけられます。東峰学園の子どもたちには、「ことば」で周囲のみんなに、元気と勇気を与えてくれる素敵な大人に成長してほしいと願っています。

## うれしいお便りが届きました。

3年生が1年間をかけて取り組んだ「人権の花ひまわりプロジェクト」。11月25日にフィナーレを迎えました。2名の人権擁護委員さんをお迎えし、「人権」についての学びを振り返りました。風船に一人ひとりが書いたメッセージと



ひまわりの種を乗せて飛ばした風船は、青い空に吸い込まれるように

高く高く飛んで行きました。そして、11月27日。「木に引っかかった風船を見つけました。あゆむさんが飛ばした風船でした。暖かくなったらひまわりの種を植えます。」と連絡をいただいたのです。大分県中津市にお住まいの男性からでした。私たち職員も驚きましたが、それ以上に3年生は「驚きと喜び」でいっぱいでした。本当に心温まるうれしいお便りでした。

★体罰等によらない子育てを広げよう！★

令和2年4月に法律が変わり、子どもへの体罰が法律で禁止されました。体罰等が繰り返されると、子どもは攻撃的で暴力的な大人に育つと言われており、科学的にも明らかになっているそうです。私たち大人は、子どもたちが学校や家庭において安心感や信頼感を抱き、温かな関係や環境の中で成長できるように、よりよい関わりを考えていくことが大切だと思います。

※リーフレット「体罰等によらない子育てを広げよう！」を配布しております。是非ご一読を。